

平成20年度 子どもたちの確かな学力育成のための検討委員会(第1回) 会議録

1 日 時 平成20年10月27日(月) 午後2時～午後3時30分

2 場 所 生駒市役所403・404会議室

3 出席者

(委員)

委員長 大原 裕	副委員長 大島 眞規	委員 西村 徹
委員 井上 宝	委員 辻野 トシ子	委員 山本 公一
委員 佐々木 栄	委員 久保 とき代	委員 藤村 義邦

(事務局)

教育長 早川 英雄	教育総務部長 大津輪 幹夫
教育総務課長 峯島 妙	教育指導課長 西井 久之
教育総務課課長補佐 辻中 伸弘	教育指導課課長補佐 井上 廣
教育総務課 楠下 崇子	

4 欠席者

委員 朽木 丈二

5 議事内容(要旨)

- (1) 委嘱状の交付(教育長から交付)
- (2) 教育長挨拶
- (3) 検討委員会の趣旨説明等(事務局から説明)

・検討委員会設置以降、第1次報告及び第2次報告提出までの経緯

・附属機関等の設置及び運営に関する取扱指針に基づき、「会議の原則公開」「開催日の事前周知」「会議録の公開」「会議録の作成（要点筆記、発言者の実名は非公開）」について了承を得る。

(4) 委員紹介

(5) 委員長・副委員長の選出（互選による選出）

(6) 子育て支援及び少人数教育の各施策の実施状況について(事務局から説明)

(委員長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ございませんか。

(委員) 預かり保育についてですが、保護者も園も不安や心配を抱えてスタートしたのですが、現在は、利用人数は地域でバラつきがあるものの、保護者の理解を得ながら実施できており、軌道に乗ったように思います。

預かり保育を利用された方からは、「上の子どもの授業参観に行くために利用したが、これまでは授業だけ見て帰ってきたが、その後の学級懇談にも参加できた」「バス通園のため園へ来ることが少ないが、預かり保育を利用すると、お迎えに来なければならないので、担任の先生と話をする機会ができた」といった声を聞きます。ほかにも、家族の通院や、運転免許等の資格取得に利用されている方がおられます。

現場では、急な申込みやキャンセルもあり、預かり保育に関する事務処理がたいへんですが、幼稚園の機能拡大が求められていますので、預かり保育の実施は良いことだと思います。

また、3歳児の希望者全員受入れについては、これまで希望者多数で抽選した際、抽選にもれた保護者の方がひどく落胆された様子を見てきましたので、全員受入れはたいへんありがたいことだと感じています。

(委員) 30人学級実施にあたって市費講師の採用を12人見込んだということでしたが、人件費はどのくらい予算計上されましたか。また、スクールボランティアの登録状況について教えてください。

(事務局) 人件費については、担任を任せられる方ということで年間でひとりあたり420万円、総額では5,000万円程度を計上いたしました。

スクールボランティアは、今年の2学期から開始したところも含めまして10小学校、5園、1中学校で登録を受付けておりまして、平成20年9月1日現在657人の登録があり、見守り活動、読み聞かせ、図書の整理等、様々な分野で各学校の要望に応じて、ご協力いただいております。

(委員長) スクールボランティアは、今後、体制が整った学校が登録を受付ければますます増えると思います。

(7) 平成20年度全国学力・学習状況調査の結果について(事務局から説明)

(委員長) ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ございませんか。

(委員) 生活習慣等に関する調査の中で、「近所の人に挨拶をする」という項目があり、生駒市は全国平均より高いのですが、これは長年の地域ぐるみ活動の成果ではないでしょうか。嬉しいことだと思います。

(委員) 学力テストと生活習慣等に関する調査の相関図を見ると、一生懸命子どもを塾に通わせているご家庭もあると思いますが、小・中学校とも学校以外の勉強時間が3時間以上の子どもと、全くしない子どもとでは、余り差がありません。

また、「人の気持ちが分かる人間になりたいか」「人の役にたつ人間になりたいか」等の質問の結果を見ると、道徳心が十分ではないように感じます。

(委員) 小学生で「人の役に立ちたい」「人の役に立ちたくない」という答えを積極的に選ぶ子どもは少ないと思います。おそらく、「人の役に立ちたくない」という答えを選んだ子どもの数は少なく、たまたまその子どもたちの成績がよかったと考えるべきではないでしょうか。

(委員) 設問と回答結果について、中身が一致していない、現実とはかけ離れてい

るということでしょうか。

(委員) 統計処理上のデータであり、小学生という発達段階では、普通ならマルはつけない、考えもしないと思われる設問もあり、あまり意味はないと思います。

(事務局) それほど極端ではないものの、相関は認められます。十分なデータ数を得たとは言えないかもしれませんが、本市の傾向としてとらえられるということとで説明しました。

(委員) 小学校では朝食を全く食べていない子どもがかなりいるように見られますが、実際は若干の児童であり、その子どもたちの成績がかなりよかったということでしょう。やはり、この資料は傾向がつかめるということで、考えてはどうでしょうか。

(委員) 子どもは、今と昔では違ってきたと感じます。例えば、昔は素行が荒れていても義理人情に厚いと感じる子どももいました。今は、義理人情は厚くないが勉強はできるという子どもがおり、そういう子どもたちが、どんな大人に成長するのかが気がかりなところです。「人の役に立ちたい」や「人の気持ちを分かるようになりたい」という気持ちを持っているかいないかは、今後、この検討委員会を進めていく上で、一つの切り口として考慮すべき項目ではないでしょうか。

(委員) 朝食についてのとらえ方は、子どもと大人、また保護者の間でも違うと思います。アメやチョコレートでも朝食とみなしている場合があり、私たちが考えている「朝食」を食べていない子どもは、実際には多いと思います。

(委員) 現在、まさにこのテストの対象となる子どもを育てております。学力テストでは、しっかり授業を聞いていれば、正解できる質問もあると思いますし、生活習慣等に関する調査では、子どもに噛み砕いて説明すれば、異なった回答を選ぶこともあると思います。

例えば、「人の役に立ちたいかどうか」という設問ですが、小学校 6 年生では、気持ちとしては思っている文章で改めて問われるとよく理解できなくて、あえて「役に立ちたい」を選ぶことはできなかったけれども、中学生になれば気持ちと理解度が一致して「役に立ちたい」にマルをつけたということではないでしょうか。

今回の資料を見せていただいて、保護者としても、がんばっていかねばと思うところもありますが、やはり傾向を考える上での資料であり、すべてが押し量れるものとは思いません。

また、保護者の中にも考え方の違う方、当たり前のことを当たり前と思えず、取り違えている方もおり、保護者も今と昔では変わってきていると感じます。

(委員) 生駒市と人口や学校規模が似たアメリカのある都市では、学校で朝食券を配布し、食事を摂る時間を作っていました。

(委員) 日本でも、岡山県の方でそういう試みがあったと記憶しています。

(委員) 教育の平等を考えたとき、まず環境を同一にと考えれば、みんながしっかり朝ごはんを摂って学校の授業を受けるべきだと思います。しかし、それが家庭では無理だとなれば、良い悪いは別として、何か方法を考えていかねばならないのかもしれない。

(委員) いろいろと話は出ましたが、今回のデータは全国的な傾向としてとらえるべきでしょう。人の役に立ちたくないという児童・生徒が増えているわけではないと思います。

(8) その他

(委員長) では、次回から本格的に審議に入りたいと思います。その内容について、何かご意見ございますか。

(事務局) 事務局といたしましては、近々の課題として、情報科のこれからと学習指

導要領の変更を考えております。

情報科の授業は、特区の認定を受けて実施してまいりましたが一般化されるため、今後、情報科の授業をどうするかということと、学校指導要領の変更にどのように取り組んでいくかということについて、次回、事務局から提案させていただきたいこともございますので、そういったことを含めて生駒市らしい学力育成の取組について、検討をお願いしたいと考えております。

(委員長) それでは、情報科の一般化や学習指導要領の改訂を考慮しつつ、子育て支援や少人数教育以外の、これまであまり検討されていなかった学力育成に関する施策について、検討していくということよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長) ありがとうございます。学力育成といっても、決してペーパーテストの点を上げるということだけではありません。知識、理解を生活の中で生かさせてこそ、本当の学力と言えると思いますので、よろしく願いいたします。

では、次回の会議開催について、この場で日程調整を行います。

(日程調整)

(委員長) それでは、次回は11月17日午後3時からの開催といたします。

今後の日程についても、忙しい皆様の便宜上、会議当日に調整することにしたと思いますがいかがですか。

(異議なし)

(事務局) ありがとうございます。それでは、会場等、後日ご連絡させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(委員長) 本日の日程を終了します。ありがとうございました。

以上